

賜ふを覽台 帝國大學

4.3.2

附屬圖書

THE HEAVENS

March 1929

第九十六號 (第九卷)



昭和四年三月號

編輯 理學博士 山本一清 理學士 竹田新一郎

主要目次

本年五月九日の日食

理學博士 山本一清

反射望遠鏡の知識

中村要

臺灣觀測旅行記

村上忠敬

大正九年十二月二十四日第三種郵便物認可(毎月一回二十五日發行)
昭和四年二月二十四日印刷本
昭和四年二月二十五日發行

目 次

此の頃の話題 175

本年五月九日の日食 理學博士 山本一清 176

アインシュタインの發見した新學說 ライヘンバハ 182

反射望遠鏡の知識(14) 京大天文臺 中村 要 186

臺灣觀測旅行記 村上忠敬 193

本年最初の新彗星 205

三月の天象 206

天文觀測部月報 210
同好會

 ○一月の太陽面活動について ○十一月の流星 ○報告 ○流星課より ○變
 光星觀測報(3) ○變光星課より

通 信 218

會員一覽 220

 附錄 天文語彙 (24)

Contents of THE HEAVENS No. 96.....Editors: {I. Yamamoto
 {S. Takeda

Topics of To-day 175

I. Yamamoto, Solar Eclipse of May 9. 176

Prof. Einstein's New Theory 182

K. Nakamura, Knowledge of Reflectors 186

C. Murakami, A Diary of Expedition to Formosa 193

Heavens of March, 1929 206

Monthly Reports from the Observing Sections 210

京都帝國大學教授 理學博士

山本一清先生著

標準天文讀本

之れは吾か天文同好會員の教科書とも言ふべきものであつて、殊に「天界」や「ブレテン」を讀むために之れは必要な書物である。星圖や天體寫眞を見るのにも、新聞雜誌の天文記事を讀むのにも、多少の準備的智識のあると無いとは大變に興味の違ふものであるが、此の「標準天文讀本」は此等の要求に應ずるやうに書かれたものである。同好會員は必ず一本を備へなければならない。

キリ版368頁、外に扉、序文、目次及び索引補遺正誤など22頁

目次

第一章 天 球

- 第一節 天球座標と其の主要點
- 第二節 星座
- 第三節 天球上の諸種の運行

第二章 天體運動の理論

- 第一節 古代人の天體論——天動說
- 第二節 地動說
- 第三節 二天體の運動論
- 第四節 軌道要素
- 第五節 三天體の運動論
- 第六節 攝動
- 第七節 天體の自轉と形狀
- 第八節 太陽系の構造と進化

第三章 球面天文學

- 第一節 日月諸星の運行——黃道座標
- 第二節 日食と月蝕及び其の類似現象
- 第三節 曆法種々
- 第四節 歳差と章動
- 第五節 アペラシオン
- 第六節 視差
- 第七節 固有運動
- 第八節 星の天球位置と其の目錄並びに星圖
- 第九節 地球大氣に因る光線の屈折
- 第十節 地球の形と大きさ

第四章 天體の物理學

- 第一節 天體物理學の方法
- 第二節 太陽
- 第三節 遊星と衛星
- 第四節 彗星と流星その他
- 第五節 恒星の光分類と色
- 第六節 天體の視線運動
- 第七節 重星と連星
- 第八節 變光星
- 第九節 星雲と星團

第五章 天體宇宙と其の進化

- 第一節 天體の總數と空間分布
- 第二節 天體の運動
- 第三節 天體の進化と宇宙の組織

第六章 天文研究の方法と器械設備

- 第一節 原始的の簡單な器械
- 第二節 望遠鏡と其の種類
- 第三節 固定機——子午線機
- 第四節 運轉機——赤道機
- 第五節 部分器械及び天文時計
- 第六節 天文臺

定 價 3 圓

送 料 2 4 錢

發賣店 京都市烏丸通 今出川上ル **みつびし書店** (電話は西陣 2392) (振替は大阪78093)